



2021年2月4日

各 位

会 社 名 株式会社リコー
代表者氏名 代表取締役 社長執行役員 山下 良則
(コード番号 7752 東証第1部)
問い合わせ先 広報室長 立石 信吾
電話番号 050-3814-2806

減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日発表の2021年3月期第3四半期連結会計期間（2020年10月1日～2020年12月31日）の連結決算において、下記の通り減損損失を計上しましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の発生および内容

当社商用印刷事業における、のれん、有形固定資産及び無形資産（開発資産を含む）について、国際会計基準(IFRS)に基づき減損テストを実施した結果、2021年3月期第3四半期連結会計期間において、のれんの減損2,641百万円、ならびに販売費及び一般管理費に、有形固定資産及び無形資産等の減損損失7,745百万円をそれぞれ計上いたしました。

今回減損損失を認識した商用印刷事業は、将来の事業拡大に向けて重点的に投資を行ってまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による事業の先行き不安から、商用印刷事業のお客様の投資意欲の低下等の影響を受けていました。

減損テストにおいては、将来の事業拡大に向けた成長、ならびに成長のための投資を織り込むとともに、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を慎重に考慮した将来計画を策定した結果、想定されていた収益の実現時期が当初よりも遅れることとなりました。

その結果として、過去の買収により計上したのれんを含む資産の一部について減損損失を計上することとなりました。

2. 今後の見通し

上記の減損損失については、本日公表の「2021年3月期第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」に反映しております。なお、2021年3月期の当社通期連結業績予想については、今回の減損損失計上はあったものの、オフィスプリンティング事業の着実な業績回復とオフィスサービス事業の収益拡大に加えて、当年度全社を挙げて取り組んでいる利益体質強化の取り組みの成果などによって、業績見通しの達成は可能と見込んでおります。

(注) 上記の予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上